

事務事業チェックシート

事務事業No 185 事業名 介護認定調査・審査等事業（認定審査会）

[事業基本情報]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	4	社会保障制度の充実
施策	1	社会保障制度の充実
基本方針	4	介護保険制度の適正な運営

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		介護保険	
	款		総務費	
	項		介護認定費	
	目		介護認定費	
	大事業		介護認定事業	
事項		介護認定審査会業務		

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	介護保険課	竹本 和人 (435-1190)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	被保険者が介護が必要かどうか、必要な場合はどれくらいの介護が必要かについて審査判定をする。	調査票を全国共通のコンピューターソフトで判定し、その結果と主治医意見書・特記事項を基にして保健・医療・福祉の専門家で構成される介護認定審査会で判定する。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		身体状態に応じた介護度の審査判定をする。	身体状態に応じた介護度の審査判定をする。	身体状態に応じた介護度の審査判定をする。	身体状態に応じた介護度の審査判定をする。	身体状態に応じた介護度の審査判定をする。

2 事業コスト

		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
事業費等 千円	事業費	110,342	86,180	93,231	87,441	103,551		103,551		103,551		
	伸び率 (%)	-	-	-15.5%		11.1%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	27,601	21,868	19,966	22,212	22,212		22,212		22,212	
		非常勤職員	4,428	2,367	2,657	2,326	2,288		2,288		2,288	
		小計	32,029	24,235	22,623	24,538	24,500		24,500		24,500	
	国庫支出金	0	0	0		0		0		0		
	県支出金	0	0	0		0		0		0		
	市債	0	0	0		0		0		0		
	その他	59	0	0		0		0		0		
	一般財源（税等）	110,253	86,180	93,231	87,441	103,551		10,551		10,551		
所要人数	常勤職員	3.60	2.92	2.92	2.92	2.92		2.92		2.92		
	非常勤職員	3.04	1.12	1.12	1.10	1.09		1.09		1.09		
主な予算内訳		附属機関委員報酬 77,200千円		機械等借上料 8,577千円								

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
活動指標	審査会開催数					年度目標値	732	742			
						実績値	713	715			
	単位	全体目標値	全体目標達成度					年度別達成度			
								年度目標値			
成果指標	要介護認定件数					年度目標値					
						実績値	24,041	24,810			
	単位	件	全体目標値	全体目標達成度					年度別達成度		
									年度目標値		
年間	の判定件数/申請者数					実績値	98.2	98			
						年度別達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	高齢者人口が増加することにより、介護認定申請が年々増加しており、現状の体制では対応するのが困難となることが予想される。
「見直し」 「改善」案	